

経営比較分析表（令和2年度決算）

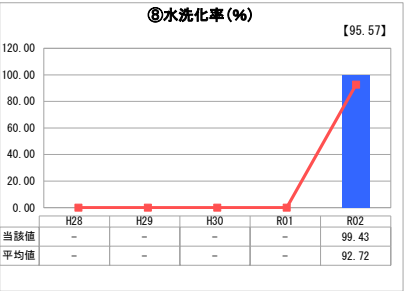
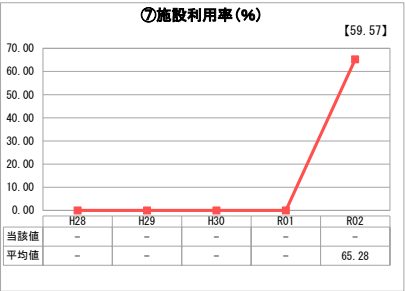
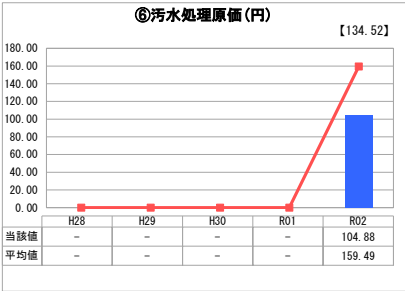
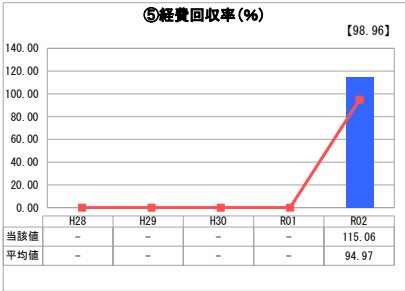
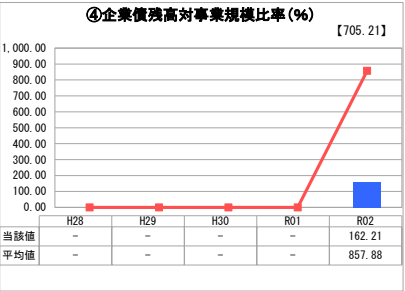
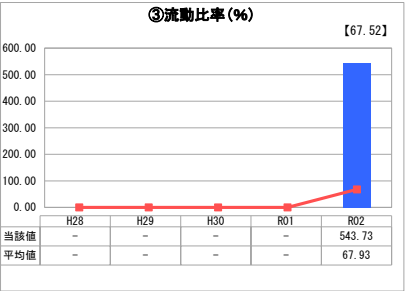
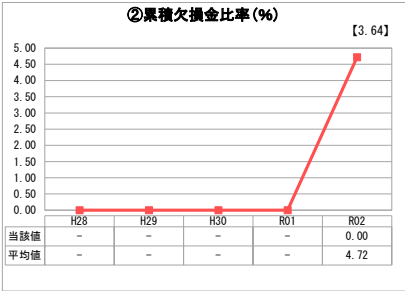
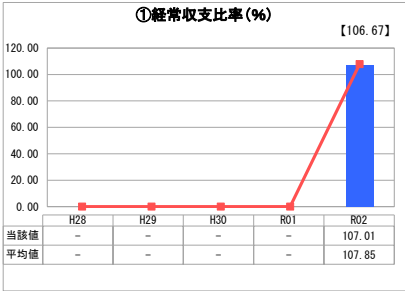
千葉県 印西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	95.63	81.62	84.89	2,178

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
105,772	123.79	854.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
86,579	18.32	4,725.93

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



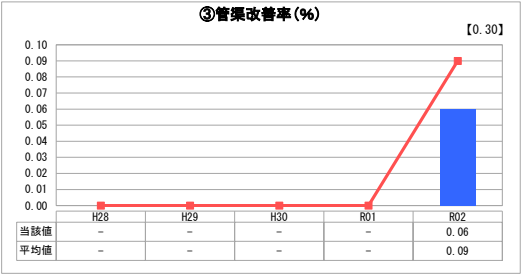
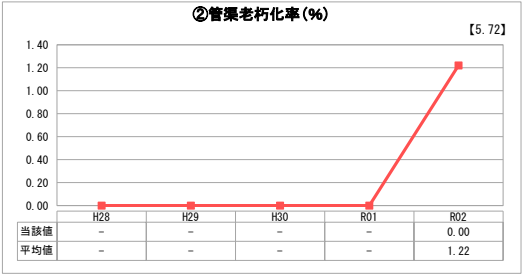
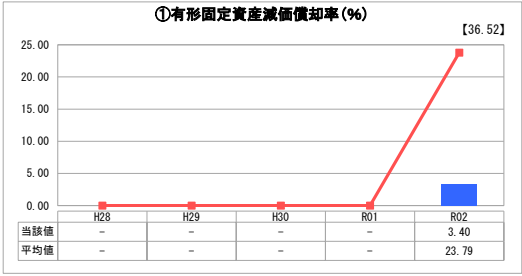
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を超えていることから単年度収支は黒字となっている。
②累積欠損金比率は、累積欠損金が発生していないため、当該指標の実績値はありません。
③流動比率は、100%を超えていることから短期的な債務に対する支払能力を有している状況である。
④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値と比較して低い数値となっているが、今後、施設の更新等の財源である企業債の増加が見込まれる。
⑤経費回収率は、100%を超えていることから、汚水処理費を使用料で賄えている状況である。
⑥汚水処理原価は、類似団体平均値と比較して低い数値となっている。今後見込まれる更新等を効率的に行っていくよう努める。
⑦施設利用率は、単独での下水処理場を有していないため、当該指標の実績値はありません。
⑧水洗化率は、類似団体平均値と比較して高い数値となっている。

2. 老朽化の状況について

①③について、類似団体平均値との比較では低い数値である。昭和55年の供用開始以降、管渠の更新が進んでいない状況にあることから計画的な経営に取り組むとともに長寿命化を図っていく必要がある。
②管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠を有していないため、当該指標の実績値はありません。

2. 老朽化の状況



全体総括

印西市の公共下水道は7割以上が千葉ニュータウン区域であるため受償資産が多いことから、下水道整備に充てた企業債が全国平均と比べ低く、処理区域内人口の増加とともに使用料も増加している状況である。
一方で、今後老朽化が進んでいく中で管渠等の維持管理及び更新にかかる費用の増加に伴う経費回収率の低下が想定されることから、計画的な長寿命化を図り、持続的に安定した経営に努めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。